学　会　記　事

第46回新潟化学療法研究会

日　時　平成19年6月9日（土）
午後3時30分～
会　場　新潟グランドホテル　5F
常磐の間

Ⅰ．一　般　演　題

1　妙高病院におけるインフルエンザワクチン接種に関する意識調査

小熊　妙子・佐藤理津子・岸本　秀文
天井　　誠*・柳　紀美江*・加藤　克彦*
妙高病院内科
同　薬剤部*

2006年10月以降にインフルエンザワクチンの接種希望者に対し，接種に関する意識調査を行った．回収は小児科57人，内科314人であった．接種理由としてインフルエンザは怖い病気だと思う，とした回答が多く，家庭内での養育・介護者としての立場を考慮したもの，不特定多数の人との接触を理由に挙げた回答は全体で3割を超えなかった．この傾向は観光・接客・サービス業と回答した人の間でも見られた．医療機関の選定に当たり，近いことやかかりつけであることを理由に挙げた回答が多かった．特に小児科においてワクチンの費用を高額と考える人が多かった．心配なこととして小児科ではおよそ半数の回答で副作用を挙げていた．

2　当院で発生したセレウス菌による血流感染2症例とその事後対策

近　　幸吉・院内感染対策委員会
県立坂町病院内科

平成17年7月から9月にかけて当院でセレウス菌による血流感染症例を2例経験した．

〔症例1〕60歳女性，胃がん手術後セレウス菌による菌血症を併発した．末梢留置針が感染源と考えられた．BIPM投与で改善した．

〔症例2〕81歳女性，膵癌手術後，急な発熱あり血液よりセレウス菌が検出されセレウス菌による菌血症と診断した．MEPM投与で改善したものの他の原因で死亡退院となった．　院内，委託業者の環境調査で広範囲にセレウス菌が検出され，業者から出荷直前の乾燥した清拭用タオルからも高濃度に検出された．

当院ではこの調査結果を受けて，局所感染リスクの高い症例の清拭にはデスポーザブルタオルを使用していたが，清拭の患者満足度は，低下した．

家庭用電子レンジによる10分の照射がセレウス菌芽胞を含むほとんどすべての細菌の無菌化に有効であることが判明し現在は，レンジ照射後タオルを高リスク例には使用している．

3　ACU/MICを考慮したVCMのTDM解析に向けて ― リネゾリドからの変更症例の検討

伊藤　敦子・継田　雅美
新潟市民病院薬剤部

【目的】PK/PDを考慮したTDM解析に向け，バンコマイシン投与で効果不十分であった症例について検討する．

【方法】平成18年9月から平成19年3月までにリネゾリドを使用した患者を対象とした．そのうちバンコマイシンからリネゾリドに変更になった症例について，バンコマイシン使用時に実施したTDM解析からAUC/MIC値を算出した．

【結果】検討した症例は5名．AUC/MIC値は188.2～1222.1であった．

【考察】MRSAの気道感染症ではAUC/MIC値が345以上で有効性があったとする報告がある．